

# 「未来の学び」創造シート

緑野小学校 5年2組  
授業者 吉田 智美(緑野小学校)  
(株)日立製作所との協働授業

1 題材名  
社会科 「情報化した社会とわたしたちの生活」

## 2 教科・領域の「ねらい」

- 課題解決や目的のために、有効に情報を活用しようとする。
- ICTの進化が生活に大きな影響を及ぼし、社会的な課題の解決につながっていること、そのために情報の有効な活用が大切であることを理解する。
- 情報産業で働く人々がどんな工夫や努力をしているのかを知り、ICTや情報産業への興味・関心を高める。

## 3 キャリア教育の視点からの「ねらい」

基礎的・汎用的能力	ICT・学校図書館 活用型授業	協議型授業	外部人材 活用型授業
人間関係形成 社会形成能力	○	○	○
自己理解 自己管理能力			
課題対応能力	○	○	◎
キャリアプランニング能力	○		○

## 4 授業の概要

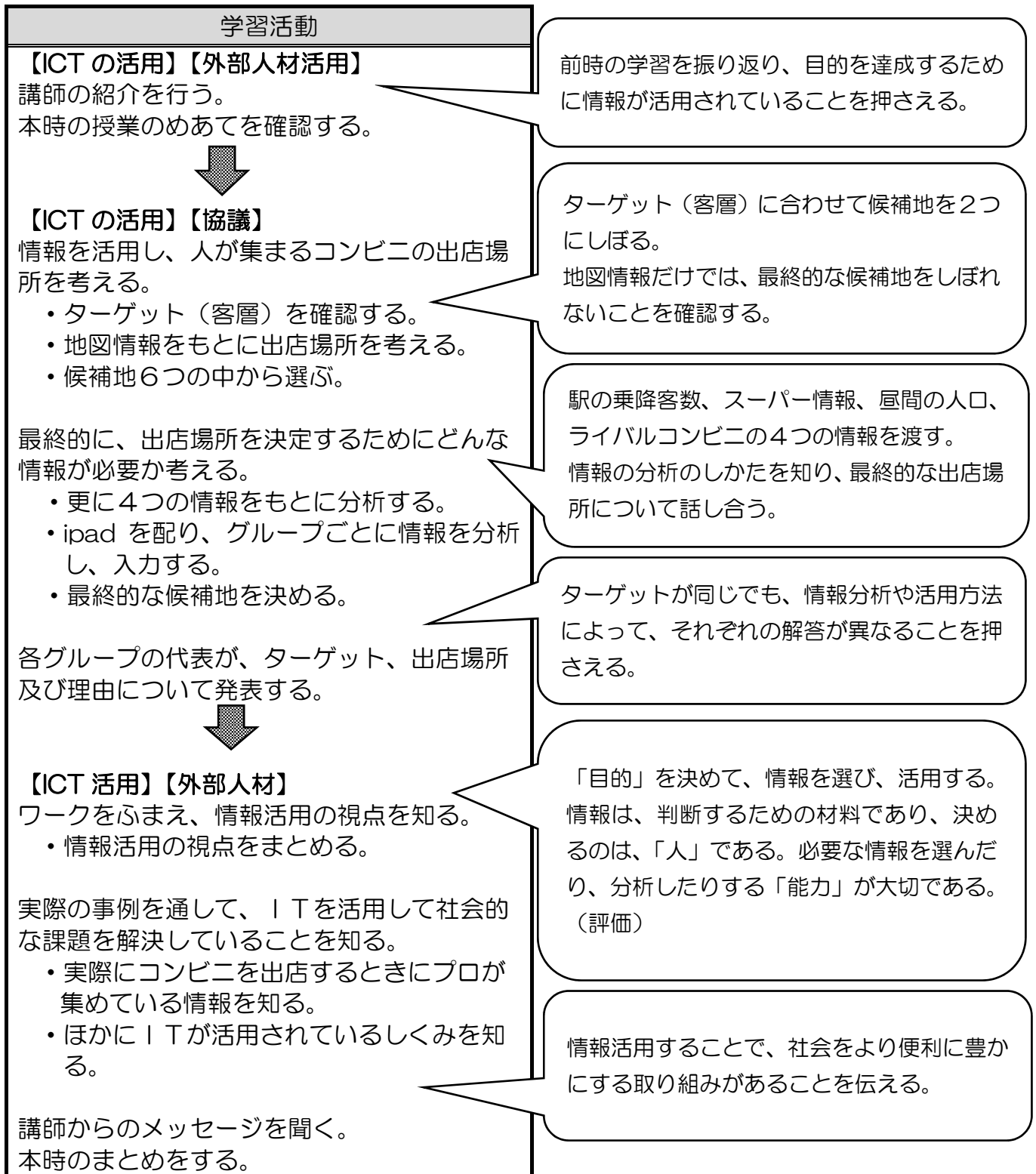
社会科「情報化した社会とわたしたちの生活」で、情報ネットワークの仕組みについて知り、情報を生かすためにはどうすればよいか考え、学習を進めてきました。本授業は、発展的プログラムとして構成され、「社会科+情報教育+キャリア教育」の要素を盛り込んだ内容になっています。事前授業として、身のまわりの生活で使われる「ICT（情報技術）」をふりかえり、情報社会におけるICTの役割や重要性を確認していきます。中でも、コンビニでは、ターゲットにする客層によって、並んでいるお弁当の種類や数が異なることを知り、そのために情報収集や分析が必要であることを理解しました。



今回、コンビニ出店のワークに取り組むことで、情報活用を体験できるように構成され、情報活用の専門家である外部人材に教わることで、情報活用の大切さや視点を理解していきます。情報をどう活用し、よりターゲット（客層）に合う場所はどこかを考え、コンビニ出店の計画をグループで協議していく。また、情報の表示や分析はICTを活用し、見やすく分かりやすく伝えるようにしています。

以上のように、本授業は外部人材とICTを活用し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成を目指すものです。

## 5 本時の学習活動



## 6 小中連携キャリア教育の視点から

外部人材からの実社会での情報の活用方法を学びました。「情報活用能力」の育成により「課題対応能力」を高め、これからの学びを深めていきます。